

PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number : **08-175067**

(43)Date of publication of application : **09.07.1996**

(51)Int.Cl.

B42F 9/00

(21)Application number : **06-334671**

(71)Applicant : **TAKAHASHI MASAO**

(22)Date of filing : **20.12.1994**

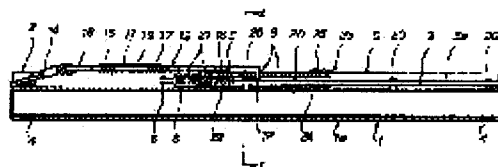
(72)Inventor : **TAKAHASHI MASAO**

(54) FILING IMPLEMENT

(57)Abstract:

PURPOSE: To obtain a rigidly sandwiching pressure irrespective of the thickness of a sheet.

CONSTITUTION: The filing implement comprises a board 1 in which stripe pieces 2, 3 are fastened 4 to both ends, a retaining member 5 for holding a sheet, an operating lever in which its base is slidably and tiltably supported to the intermediate part of the member 5 and the one piece 3 is fastened to the base and which has a locking hole 9 on the surface, a locking member 13 which is connected to the other piece 2 and has a locking pawl 12 to be locked with the hole 9 at the end and regulating means 11 for varying the entire length at the intermediate part, and a suppressing piece 23 slidably provided with the member 5 to suppress the loose end of the lever 7 to hold its laid state.



(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開平8-175067

(43) 公開日 平成8年(1996)7月9日

(51) Int. Cl.⁶

B 4 2 F 9/00

識別記号

庁内整理番号

Z

P I

技術表示箇所

審査請求 未請求 請求項の数 6 F D (全 5 頁)

(21) 出願番号 特願平6-334671

(22) 出願日 平成6年(1994)12月20日

(71) 出願人 595009682

高橋 正男

埼玉県浦和市田島 6-1-7-301

(72) 発明者 高橋 正男

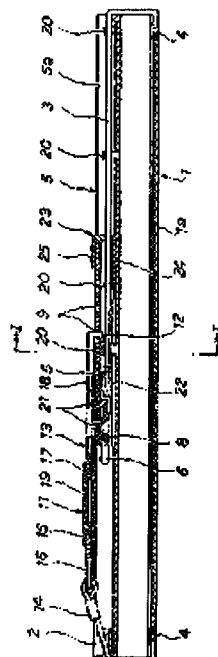
埼玉県浦和市田島 6-1-7-301

(54) 【発明の名称】 搬込具

(57) 【要約】

【目的】 用紙の厚さにかかわらずその挟持圧を強固に得られるようにする。

【構成】 両端部に条片 2、3 を止着した基板 1 と、用紙を挟み込む押さえ部材 5 と、押さえ部材 5 の中間に基部が摺動並びに起伏自在に支承され、面上に係止孔 9 を有して一方の条片 3 を基部に止着した操作レバー 7 と、他方の条片 2 に接続され、先端に係止孔 9 と係止する係止爪 12 を有し、中間に全長を可変する調整手段 11 を設けた係止部材 13 と、押さえ部材 5 に対し摺動自在で操作レバー 7 の遊端部を抑止してその伏倒状態を保持する抑止部材 23 とから成る。



(2)

特開平 8-175067

1

2

【特許請求の範囲】

【請求項 1】 両端部に可撓性の条片をそれぞれ止着して側方に導出した長尺な基板と、この基板との間で用紙などを挟み込む押さえ部材と、この押さえ部材の中間位置に基部が摺動並びに起伏自在に支承され、かつ、基部から離れた位置に係止孔を有すると共に、前記一方の条片の先端を基部に止着した操作レバーと、前記他方の条片の後端が止着され、先端に前記係止孔と係止する係止爪を設けると共に、中間に回動操作により全長を可変調整可能な調整手段を備えた係止部材と、前記押さえ部材

に対し摺動可能であって前記操作レバーの遊端部を抑止してその伏倒状態を保持する抑止部材とから構成したことを特徴とする綴込具。

【請求項 2】 調整手段が、後端が他方の条片に止着され、かつ、先端にねじ部を有した連杆と、先端に係止孔に係止する係止爪を設け、後端に前記ねじ部と螺旋方向を異にするねじ部を有した係止杆と、両端部に前記各ねじ部とそれぞれ螺合する螺旋方向を異にするねじ孔を有した回動杆とから成る請求項 1 記載の綴込具。

【請求項 3】 操作レバーの長手方向に、複数の係止孔

を隔設して成る請求項 1 または 2 記載の綴込具。

【請求項 4】 一方の条片を、押さえ部材内に設けた複数の支片に挿通してその先端を操作レバーの基部に止着し、かつ、前記条片に抑止部材を摺動可能に係挿して成る請求項 1、2 または 3 記載の綴込具。

【請求項 5】 基板が、表紙体の裏表紙内面に止着される水平部と、背表紙の幅に相当する高さの垂直部とを有して成る請求項 1、2、3 または 4 記載の綴込具。

【請求項 6】 押さえ部材が断面上向きコ字状の部材から成り、操作レバーが断面下向きコ字状であって前記押さえ部材内に介入可能な部材から成り、その基部に軸止した軸杆の両端部を前記押さえ部材の立上がり片に設けた長手方向に延びる摺動孔に係挿して操作レバーを押さえ部材に対し摺動並びに起伏自在に支承して成る請求項 1、2、3、4 または 5 記載の綴込具。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【産業上の利用分野】 本願発明は、例えばコンピュータ用紙などを綴込む場合に有効な綴込具に関する。

【0002】

【従来の技術】 従来、例えばコンピュータ用紙などを綴込む場合に有効な綴込具として、両端部に、先端に係合爪を有する一対の止バンドの後端部をそれぞれ止着した長尺な押さえ部材と、この押さえ部材にそれぞれ内方に起伏自在に抵着され、かつ、長手方向に前記係合爪と選択的に係合する係合孔を配設した一対の操作レバーと、前記押さえ部材に支承され前記操作レバーの伏倒状態を保持する抑止部材とから構成され、操作レバーの伏倒時に、止バンドが押さえ部材の両端と圧接するように構成した綴込具は、特公平 6-39194 号公報において公

知である。この構成による綴込具によれば、テコの比を利用する構成であるので、用紙の挟持力が強固に得られるという利点を有する。

【0003】

【発明が解決しようとする課題】 ところが、上記した公知の綴込具は、左右に一対の操作レバーと抑止部材とを備えて成るので、綴込具に対する用紙の綴込み操作を左右位置で行うことにより、その操作が煩わしいという不都合があった。

【0004】

【課題を解決するための手段】 そこで本願発明は上記した従来のものの不都合を解消するために、両端部に可撓性の条片をそれぞれ止着して側方に導出した長尺な基板と、この基板との間で用紙などを挟み込む押さえ部材と、この押さえ部材の中間位置に基部が摺動並びに起伏自在に支承され、かつ、基部から離れた位置に係止孔を有すると共に、前記一方の条片の先端を基部に止着した操作レバーと、前記他方の条片の後端が止着され、先端に前記係止孔と係止する係止爪を設けると共に、中間に回動操作により全長を可変調整可能な調整手段を備えた係止部材と、前記押さえ部材に対し摺動可能であって前記操作レバーの遊端部を抑止してその伏倒状態を保持する抑止部材とから構成したことを特徴とするもので、具体的には、調整手段は、後端が他方の条片に止着され、かつ、先端にねじ部を有した連杆と、先端に係止孔に係止する係止爪を設け、後端に前記ねじ部と螺旋方向を異にするねじ部を有した係止杆と、両端部に前記各ねじ部とそれぞれ螺合する螺旋方向を異にするねじ孔を有した回動杆とから成り、また操作レバーの長手方向に、複数の係止孔を隔設すると共に、一方の条片を、押さえ部材内に設けた複数の支片に挿通してその先端を操作レバーの基部に止着し、この条片に抑止部材を摺動可能に係挿して成り、また基板は、表紙体の裏表紙内面に止着される水平部と、背表紙の幅に相当する高さの垂直部とを有して成る。さらにまた、押さえ部材は、断面上向きコ字状の部材から成り、操作レバーが断面下向きコ字状であって前記押さえ部材内に介入可能な部材から成り、その基部に軸止した軸杆の両端部を前記押さえ部材の立上がり片に設けた長手方向に延びる摺動孔に係挿して、操作レバーを押さえ部材に対し摺動並びに起伏自在に支承して成るものである。

【0005】

【作用】 使用に際しては、係止爪に係止孔から外した状態で押さえ部材を基板上面より上方に離反する。この離反作用は、操作レバーが押さえ部材に対し摺動可能な範囲で許容される。この状態で基板上に用紙の側縁部を載置したのち、その上面に押さえ部材を押し付けると共に、操作レバーの基部を押さえ部材に対し摺動して一方の条片の弛みを除去する。次いで操作レバーを所要の傾斜状態で係止部材の係止爪に係止孔に係止し、この状態

(3)

特開平 8-175067

3

4

で操作レバーを伏倒する。すると、テコの理により他方の条片が緊張すると共に、操作レバーにその基部方向の引張力が作用するので、その方向に操作レバーが撓動して一方の条片も緊張し、これによって基板と押さえ部材との間に介在された用紙は、押さえ部材によって強固に挟持される。そして操作レバーを充分に伏倒した状態で抑止部片を撓動して操作レバーの遊端部を抑止する。上記において、操作レバーの伏倒時における条片の緊張度合いは、調整手段を操作してその全長を可変することにより行うことができ、さらに操作レバーの長さ方向に隔設した複数の係止孔を選択して係止爪に係止することによって、用紙の繰込み可能厚を大きくすることができる。

【0006】

【実施例】以下図面にもとづいて本願発明の実施例を詳述すると、水平部1aと、後述する表紙部材Aの背表紙bの幅に相当する高さの垂直部1bとから成る断面L字状の長尺な基板で、その水平部1aの両端部下面には、多数の細鋼線を燃成した可燃性の燃線、薄鋼板、皮革或いは合成樹脂片などから成る可燃性の左右一対の条片2、3の各一端がそれぞれ止着4されて水平部1aの両端部から相対方向に導出されている。5は断面上向きコ字状の長尺な鋼板から成る押さえ部材で、その長さは前記基板1とほぼ等しく、その中央部より稍一方の端部寄りの前後起立片5aに、長手方向に延びる撓動溝6が設けてある。7は下向きコ字状に形成されて、前記押さえ部材5内に介入可能な幅をもった鋼板から成る操作レバーで、その基部に軸片8が設けてあり、この軸片8を前記撓動溝6に係合することにより、操作レバー7は押さえ部材5に対し撓動並びに起伏自在に支承され、また操作レバー7には基部から離れた遊端部寄りに複数の係止孔9が隔設してある。

【0007】前記操作レバー7の基部側に位置する一方の条片2には、中間部に全長を可変調整することができる調整手段11を備え、かつ、先端に前記係止孔9に係止する鍵状の係止爪12を有した係止部材13が取り付けられてあり、本例においては、後端が前記一方の条片2の遊端部に止具14により取り付けられ、前端にねじ部15を有した連杆16と、後端に前記ねじ部15と螺旋方向を異にしたねじ部17を有し、前端に前記係止孔9に係止する前記係止爪12を設けた係止杆18と、両端部に、前記ねじ部15、17にそれぞれ螺合する螺旋方向の異なるねじ孔を有した回動杆19とから成る場合を示している。また前記他方の条片3は、前記一方の条片2よりも長尺に形成され、この条片3は押さえ部材5内の長手方向に隔設した複数の支持部20に挿通されて支持されており、かつ、その先端は前記操作レバー7の基部に、例えば該基部に設けた2つの挿通孔21に条片3の先端を折り返すように挿通して操作レバー7の基部内面で条片3同士を止具22より止着することにより取り付

けられる。

【0008】23は操作レバー8の遊端部を抑止して押さえ部材5に対し操作レバー8を伏倒状態に固持する抑止部片であって、これが押さえ部材5内に撓動可能に設けてあり、本例において図5で示すように細長い鋼板を下片24が上片25よりも長くなるようにコ字状に屈曲すると共に、下片24の先端に上向きの折片26を設け、この折片26とコ字状部の垂片とに対向する通孔27を設け、この通孔27に、前記他方の条片3を挿通することにより抑止部片23を押さえ部材5内に撓動可能に設けてある。

【0009】なお前記一方の条片2を押さえ部材5の内面に折り返したとき、該条片2を幅方向の中央位置に保持するために、押さえ部材5の一方の端部内面に、中央に切欠部27aを有した保持片27が設けてあり、このように構成された綴込具は、表表紙a、背表紙b及び裏表紙cを屈曲可能に連設して成る表紙部材Aの前記裏表紙cの背表紙b寄りに、基板1の水平部1aが止片などにより止着されてバインダーを構成する。

【0010】しかし、用紙をバインダーに綴り込む場合には、係止爪12に係止孔9から外した状態で押さえ部材5を基板1上面より上方に離反する。この離反作用は操作レバー7が押さえ部材5に対し撓動可能な範囲即ち撓動溝6の長さの範囲で許容される。この状態で基板1上に用紙Pの側縁部を載置したのち、その上面に押さえ部材5を押し付けると共に、操作レバー7の基部を押さえ部材5に対し撓動溝6に沿って撓動して他方の条片3の弛みを除去する。次いで操作レバー7を図4で示すように所要の傾斜状態で係止杆18の係止爪12を選択した一つの係止孔9に係止し、この状態で操作レバー7を伏倒する。するとテコの理により一方の条片2が牽引されて緊張すると共に、操作レバー7には基部方向の引張力が作用するので、その引張方向に操作レバー7が撓動して他方の条片3も緊張し、これによって押さえ部材5には強い挟持力が働き、基板1と押さえ部材5との間に介在された用紙Pは押さえ部材5によって強固に挟持される。そして操作レバーが押さえ部材5内に充分に伏倒した状態で、抑止部片23を撓動してその上片25を操作レバー7の遊端部上面に重合して操作レバー7の伏倒状態を保持するものである。

【0011】上記において、操作レバー7の伏倒時における条片2、3の緊張度合い即ち操作レバー7に作用する牽引力の強弱の度合いは、回動杆19を回動操作して係止部材13の全長を可変調整することにより行うことができ、また用紙の綴込み厚に相応して係止爪12に係止する係止孔9の位置を選択する。

【0012】

【発明の効果】以上のように本願発明によれば、テコの理を利用して押さえ部材を基板に対し押圧する構成であるので、用紙の挟持板が強固に得られると共に、単一の

(4)

特開平8-175067

5

6

操作レバーを用いるので、繰り込み操作が容易であり、また調整手段の存在によって係止部材の全長即ち用紙の挟持圧を無段階に可変調整することができ、さらに係止孔を複数配列することによって、用紙の繰込み可能厚を大きくすることができ、さらにまた基板が、表紙体の裏表紙内面に止着される水平部と、表紙体の幅に相当する高さの垂直部とを有して成ることによって、繰込み用紙の側縁を簡単に揃えることができるなどの利点を有する。

【図面の簡単な説明】

【図1】繰込み状態の総体平面図

【図2】繰込み状態の縦断面図

【図3】図2のI-I線断面図

【図4】繰込み開始状態の一部切欠した正面図

【図5】押止部材の拡大斜視図

【符号の説明】

1 基板

* 2、3 条片

5 押さえ部材

6 摺動溝

7 操作レバー

8 軸片

9 係止孔

11 調整手段

12 係止爪

13 係止部材

15、17 ねじ部

18 係止杆

19 回動杆

20 支持部

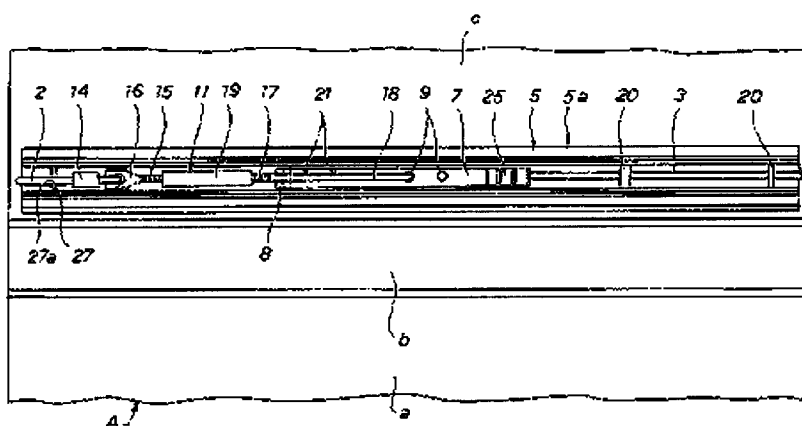
21 挿通孔

23 押止部材

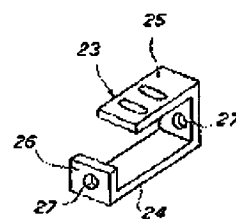
27 通孔

* A 表紙部材

【図1】



【図5】



【図2】

